



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 佐藤敏幸

No.1839  
2020年  
2月5日

国労加入を  
大胆に訴えよう

# 新春団結旗開き 組織拡大・春闘勝利誓う

東京地方本部は一月八日にホテルラングウツド(日暮里)において、二〇二〇年新春団結旗開きを開催し、多くの共闘の仲間、国労各級機関の仲間が集まり、二〇二〇年を全力で闘い抜く決意を固めあった。

一時に石井書記長の司会で旗開きは始まり、最初に鎌田委員長から政治的課題、組織強化・拡大、二〇春闘などにふれた主催者あいさつがされた(内容別掲)。

まず東京交通労協・高橋議長が「私たち現役世代は、先輩の御苦労に対してお返しをすることが出来ない。次の世代にどうやって労働組合活動を繋げていくのか、あるいは、さらに発展させていく準備をするのも労働組合のひとつ活動である。労使で解決するのが春闘。国労東京のみなさんと手を携えてさらに交通労協の運動を発展めざして進めていく」などの来賓あいさつをおこなった。続いて、この旗開きを共催する国労東日本本部・大沼委員長から乾杯の発声があった。

その後、多くの来賓のみなさんのあいさつが続く。東京全労協・寺嶋事務局長からは「安倍政権の独裁、利権に絡むことを私たちは許さない闘いを進めていく。自衛隊を憲法に書きこんでいく憲法改正を行うといわれている。私たちが何を求めてこの一年間闘っていくのか確認した。国労東京の皆さんとスクラムを組み、私たちが労働者の労働条件改善に向けて取り組みを進めていきたい」などのあいさつがされた。そのほか、東京平和運動センター・座光寺議長、東京地評・井澤事務局長、社民党東京都連合・浅田幹事長、日本共産党・山添拓参議院議員からのあいさつが続いた。



「社友会にはストライキ権がない。労働組合にはストライキ権がある。それが一番の違い。そのことを若い人にとことん話しをして、やはり労働組合が必要だと思ってもらえる活動を」、高木弁護士からは「安倍内閣は景気がよいといっているが、景気のいいのは株だけ。賃金は若干上がっているが、それは少子化の影響で人の取り合いが始まっているだけで、けっして景気全体が良いわけではない。そのことを全部隠しているのが安倍政権。労働組合や市民団体が団結して嘘を暴いていかなければ」などのあいさつがされ、続いて国労本部・松川委員長からのあいさつで前半が終了した。

第二部は佐藤教宣部長の司会に交代し、都労連、自治労東京都本部、全水道東水労、中央労金などからあいさつを受け、続いて青山秀雄団長を先頭に国労東



京議員団に登壇していただいた。最後に各地区本部・支部を代表し、今年は大宮地区本部・小森委員長から今年一年の決意を受け、最後に鎌田委員長の団結がんばろうで、この一年組織拡大をはじめ、平和と憲法の問題など多くの課題に全力で取り組む決意を固めあった。

来賓で来られたみなさま  
東京交通労協 高橋議長  
東京平和センター 座光寺議長  
東京地評 井澤事務局長  
東京都労働組合連合会 和田書記長  
中川書記次長  
自治労東京都本部 座光寺中央執行委員長  
全水道東水労 寺嶋副委員長  
中央ろうきん東京都本部 宮田営業担当部長  
中央ろうきん荒川支店 菊池次長  
黄川田営業担当  
浅田幹事長  
山添参議院議員  
斎藤まり子都議  
同 東京都委員会 鴨田弁護士  
同 国労東京弁護団 高木弁護士

委員長あいさつ  
二〇二〇年新年あけましておめでとう  
三点の課題について述べ、新年にあたってのあいさつにかえたいと思います。  
まず一点目は、安倍政権との闘いについてであります。

二〇二〇年にしたいということ、まず決意申し上げておきたいと思えます。二つ目には、直面する課題である組織強化・拡大の取り組みについてであります。国鉄労働組合も全国で今七〇〇〇名ぐらいの組織状況になっています。ご案内のように、今年度中に現職の組合員と再雇用の組合員が逆転するという現象が生じる情勢を迎えます。これまでの組織拡大の意義と課題について改めて確認し、取り組みの検証と総括を十分に深めながらこの一年間組織拡大運動を積極的に展開していく、そして次世代に私たち国労運動をしっかりと継承するという私たち自身の責務であるだけに、そのことも踏まえながら国労本部の五年ビジョンを全体的な認識として高める中で、組織拡大運動に全力をあげていくことについても決意を申し上げたいと思えます。

この他、全交通共済東日本事業本部、国鉄労働会館・アベニール、鉄道退職者会全連合会、鉄道退職者会東京地連、国労家族会東京地方連合会、(株)AZUMA、勤労者総合サービス企業組合、東京公害患者と家族の会などから、多くのご参加をいただきました。

同時に、「社会保障制度」「年金」「医療」等々、国民生活の破壊の動きが更に強まってくるこの一年になるだろうと考えています。今日まで国鉄労働組合としても反戦・平和の旗を高く掲げ、運動を不十分ながら進めてまいりました。引き続き「総がかり行動実行委員会」を中心とした大衆行動にさらに結集する体制を作り上げることが求められていると同時に、とりわけ労働組合として政治闘争の中心軸に座ることが、まさに二〇二〇年の大きな課題だろうと思っております。国鉄労働組合東京地方本部として、しっかりと政治教育の強化、政治情勢の学習を積み、この安倍反動政権を打倒す

三つ目に当面する二〇二〇年春闘です。ここ数年「官製春闘」や「政府主導の春闘」という言葉が一人歩きしています。そのことに対して私たち労働組合が、春闘をどう考え、どう捉えているのかということが求められています。労働組合が主導の春闘、あるいは労働者が主体となった春闘をいかに作り上げていくことが、まさに求められてくるこの二〇二〇年春闘だろうと考えます。職場からの春闘をどう作るのか、職場の要求を全体化しながら改善闘争、改良闘争にどう高めしていくのが私たち働きの立場からの春闘だろうと思っております。さらに、組織強化・拡大の取り組みや労働条件の改善、安全・安定輸送の確立などしっかりと結合させると同時に、今ある政治的、国民的課題と連動させた形での地域春闘として発展させなければなりません。その一躍を国労東京が担う、そうした決意を表明したいと思います。何れにしてもこの一年間国労東京微力ですが、全国の仲間と、そして多くの地域の仲間と連帯しながら闘いの強化に向けて全力をあげていきます。

決意表明  
大宮地区本部 小森委員長

最後にありますが、全ての仲間の皆さまの、この一年間の増々のご活躍とご健勝を祈念し、年頭のごあいさつにかえます。

# 新春マラソン大会 皇居外周マラソン

一月二日、第二四回国労東日本・東京地方本部新春マラソン大会を開催した。マラソンの種目は、個人マラソン(二周)と駅伝マラソン(四周)で行われ、東京地方本部からも大勢の選手が参加し、好成績を収め表彰された。

## 成績

- 個人マラソン(六位まで表彰)
  - 二位 小山 眞樹 神奈川地区本部 一八分五四秒 熱海駅
  - 三位 鈴木 博文 新橋支部 一九分五八秒 蒲田駅
  - 四位 松浦 功 神奈川地区本部 二〇分〇七秒 JESS大船駅
- 駅伝マラソン(三位まで表彰)
  - 三位 かながわA 一時間二四分五六秒 (松浦・福谷・小山・田中・蒲生・鈴木)



個人2位  
神奈川地区本部 小山選手



駅伝3位  
かながわAチーム 田中選手



個人4位  
神奈川地区支部 松浦選手



個人3位  
新橋支部 鈴木選手

## 国労加入歓迎会

### 横浜電力技術センター分会

神奈川地区本部横浜電力技術センター分会は、昨年一月二日に、桜木町の三菱重工横浜ビル2階「福琳酒家」において一月一日付けで国労加入した、辻嘉之さんの歓迎会を行い、分会や地区本部から多くの仲間がかけつけた。

歓迎会は橋本書記長の司会で始まり、最初に小澤分会長から「国労加入有り難うございます。今後も拡大をしていきます」とあいさつをする。同時に乾杯の音頭をとり宴がスタートした。

その後、東京地本・佐藤教宣部長から、加入した辻さんと分会のみなさんに感謝の気持ちや伝えられ「東京地本では組織拡大表彰を行っているので、表彰が受けられるようにさらに拡大をお願いします」とあいさつ。その後、国労バッチ・組合員証・国労手帳が贈呈された。続いて神奈川地区本部・長瀬委員長から「昨年の大会から今年の大いさつがされた。旗開きに参加してもら

その後、東京地本・佐藤教宣部長から、加入した辻さんと分会のみなさんに感謝の気持ちや伝えられ「東京地本では組織拡大表彰を行っているので、表彰が受けられるようにさらに拡大をお願いします」とあいさつ。その後、国労バッチ・組合員証・国労手帳が贈呈された。続いて神奈川地区本部・長瀬委員長から「昨年の大会から今年の大いさつがされた。旗開きに参加してもら

## 野球審判員団総会(解散式)

国労東京野球審判団は一月十九日に、東京地方本部会議室において審判員総会(解散式)を開催した。

総会は十五時に緑川事務長の司会で開会し、深澤審判長あいさつ、地本石井書記長・佐藤教宣部長、東日本本部常盤教宣部長から情勢報告やこれまでの活動のお礼等の来賓あいさつが行われた。その後、昨年度の会計報告、今後審判団をどうしていくのかが話し合わせ、個人参加になるが三月一日、神奈川工業高校で行われる審判員講習に参加していくことなどが話し合わせ総会が終了した。

## 工務協定期委員会

昨年一月二九(三〇)日神奈川県湯河原の地において、第三三回東京工務協定期委員会が開催された。



委員会が開催された。

委員会からは施設系統における問題点、とりわけ「ずつと国労の人たちと仲良くさせてもらっていた。東労組をやめて入るのはなかなかできない。東労組がなくなったとき入ろうと思っていたが、声がかからなかった。その後、橋本さんと話しをして入ろうと決め、皆さんにお世話になろうと思った。皆さんこれからよろしくおねがいします」とあいさつがされた。最後に全体で記念撮影を行い、楽しい歓迎会が終了した。

一六時から場所を移動して懇親会が行われ、昔話に花が咲くとともに、健康に十分注意して、お互いが今後も活動していく鋭気を養って解散となった。



石井書記長 深澤審判長 緑川事務長

引き続き、この間の経過報告・決算報告がされた。引き続き多くの仲間からは、「組織拡大」の取り組みについて報告がされてきた。東京プロジェクトの仲間からは、「職場の若い社員と日頃から交流している。レク等にも参加してくれるが、後一押しが出来ていない」大宮の仲間からは「年一回の温泉旅行を継続してきている。交流はしているが加入には至っていない」等の報告がされた。またエルダー問題についても多くの報告や意見が出された。「本体エルダーを希望したが、直前まで発令が無い。不安がある」「賃金が下がりが厳しい」「休日が減った」等の報告もされている。「社友会」の問題やメンテナンス体制の最適化の問題点など、また一月一日に東京支社で実施された施設事務の見直し施策での問題点・モニタリング巡視について、さらには工事の平準化やパートナー会社の労働実態等の報告がされた。

最後に集約では、「施設職場では技術の継承が出来きていない。また再雇用(エルダー)社員の労働条件や組織問題についての答弁がされ、打越議長の団結ガンパローで散会した。



月払保険料【団体取扱】スタンダードプラン

契約日の満年齢	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳
男性	2,493円	3,343円	4,984円	8,057円	13,582円
女性	2,473円	3,434円	5,128円	6,791円	8,451円

2018年4月2日現在

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

NEW! 生きるためのがん保険 Days1

ニーズに合わせて特約をプラス!

- 外見ケア特約
- 治療に伴う外見のケアに備える
- 緩和療養特約
- 緩和ケアに備える

アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック  
東京第二法人営業部  
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658